

第三小学校等複合施設及び立川第三中学校に係る 調査結果等説明会での意見要旨

日時	会場	参加者
令和8年6月5日（金） 午後7時00分～8時00分	たましん RISURU ホール 5階第1会議室	10名
令和8年6月6日（土） 午前10時00分～11時00分	たましん RISURU ホール 5階第1会議室	7名
合計		17名

1. 主なご意見

意見 第三小学校の調査結果について全4棟とあるが、調査対象はどの建物か。

回答 体育館、南校舎のほか、北校舎が2棟に分かれているため、合計4棟となっている。

意見 両校の耐用年数評価の結果、3棟は100年以上持つということか。

回答 今回調査した鉄筋コンクリート造建築物の耐用年数評価では、全8棟の内、3棟は100年超といった調査結果が出ている。

意見 第三小学校について、どの棟が評価不能か。

回答 北校舎西側の棟が評価不能であった。

意見 固定資産税の評価では60-70年で寿命と言われているにも関わらず、あと100年持つというのはよくわからない。

回答 含水率を一定以下に保持するといったコンクリートの状態を維持すれば、100年超の耐用年数の評価が出ている。まずは長寿命化をしていくが、100年間建替えをしないということではない。

意見 「評価不能」がよくわからない、こういった理由でそうなったのか。

回答 コンクリートの中性化がどの程度進行しているかを確認し、内部の鉄筋に到達するまでの残り年数を評価した。「評価不能」の箇所は、コア抜きした結果、すでに中性化が鉄筋に達している可能性があるため、残りの年数としては「評価不能」となっている。ただし、それ以外にはつり調査や含水率等を確認のうえ 総合的に判断した結果、引き続き使用可能と判断している。

意見 耐震性は問題ないのか。

回答 今回の耐用年数評価は 耐震診断とは別のものになる。第三小学校は平成 21 年度、立川第三中学校は平成 20 年度に耐震改修工事を行っており、耐震性能は確保されている。

意見 学童保育所と児童館との複合施設にする計画も白紙ということか。

回答 現時点で白紙とは言い切れないが、まずは第三小学校と立川第三中学校は改修を実施する。複合施設については、今後の建替の際に再度検討することになるものと考ええる。

意見 第三小学校の改修はいつ実施したか。

回答 大きな改修はこれまで実施していない。

意見 改修に向けてどのように予算を確保していくのか。改修は何年後をめどに実施するのか。

回答 まずはこれから予算を積算・要求していく段階であるが、できるだけ早く改修を実施したい。改修内容が決まり次第、その整備方針について改めてご説明させていただく。

意見 両校の整備方針をいつまでに検討するか。

回答 次期は未定だが、今回の調査結果を踏まえ教育委員会と連携しながら検討していく。

意見 第三小学校と立川第三中学校の整備の順序も今後再検討になるか。

回答 どういった順番で進めていくかも検討していく。

意見 設計段階からまたもう一度見直すか。

回答 約2年前にお示しした第三小学校、立川第三中学校の図面は建て替え時における整備計画であり今後建て替えを行う際には詳細な設計を行う。そのため、整備計画の図面から変わることもありうる。

意見 学習環境、生活環境を心配している。第一小学校のような施設を早く第三小学校の児童にも提供し、現代的環境で学ばせてあげたい。生活環境の面では、特に夏場が暑く、授業を行う先生の環境としても心配している。複合化すると整備が長期化することも考えられるため、まずは学校の単独改修で良いので早急に進めてほしい。

回答 児童・生徒の意見も踏まえ、教育委員会と連携しながらしっかりと進めていきたい。

意見 立川第三中学校では、トイレが気持ちの良い環境ではないため利用を控える生徒もいるようなので、早く対応してほしい。

回答 教育委員会連携しながら検討していく。

意見 早期に改善されるよう努力していただきたい。

回答 今回の調査結果を踏まえ、教育委員会と連携しながら検討していく。

意見 部分的にでもいいので、迅速な対応をお願いしたい。

回答 教育委員会と連携しながら、部分的な実施の可能性も含めて検討していく。

意見 躯体の長寿命化は具体的にどのような措置をするか。

回答 屋上防水や外壁塗装を行って、コンクリート内部への水の侵入を防いでいく。

意見 雨漏りについては経路を調査しているのか。

回答 雨漏りの経路を特定しても他の箇所に戻りこむこともあるため、部分的な対応ではなく、屋上防水や外壁塗装などの全体的な対応策を行っていく。

意見 第七小学校は大規模改修を行ったが、第三小学校、立川第三中学校についても同じような改修内容になるのか。エレベーターは設置するのか。

回答 内容についてはこれからの検討にはなるが、エレベーターの新設といった大規模改修工事の規模の内容までは実施する予定はない。

意見 第三小学校区は子どもが増えているので教室が足りなくなるのでは。第七小学校についても、大規模改修の際に同じ指摘をしたところ「大丈夫だ」との回答だったが、結果として増えている状況である。先を見越して、しっかり検討すべき。

回答 第七小学校の大規模改修時点では、かなり早いペースで人口減少が進むだろうと想定したうえで、面積を減らそうと動いていたが、ご指摘の通り地域によってはまだ人口が増えている状況である。児童・生徒数の予測を見直す必要があると考えている。また一律に床面積を削減するようなことはしないような形で、検討を行っていきたい。

意見 全国的な人口減少の傾向に対して、立川市の人口は増えている。もう少し立川市独自で正確な予測ができないか。

回答 東京都自体が増えているが、近隣と比べても立川市は若干伸びている傾向にある。教育委員会と連携して、なるべく実情に近い児童・生徒数の予測を立てて整備について検討していきたい。

意見 今後も公共施設の再編を中心に進めていくのか。

回答 人口が増えている状況の中で床面積を減らすのは成り立たない。方針転換することを考えている。地域ごとに見ると、確かに人口減少の地域もあれば、人口増加の地域もあるので、地域特性や立川市の特徴をうまくつかんで、将来の児童・生徒数について町丁別ぐらいで推計したい。「再編は絶対しない」ということではなく、例えば、その地域で再編の機運が高まったり、地域の住民の方々の同意が得られればその方向に動くであろうと考えている。そういった機運が醸成されないのであれば、既存の施設を延命化していく。仮に建て替えをするにしても、既存校舎よりも床面積を増やすこともあるかもしれないため、一律に再編や床面積の削減をすることはないと考えている。

意見 町丁目で人口推計が出来れば素晴らしい。人口密度を戦略的に上げていくところを決めるとともに、拡大する必要がないところは長寿命化をするなど、建て替えと長寿命化をうまく使い分けられると良い。

回答 一律にやるのではなくて、地域の特色を見ながら進めていきたい。また、耐用年数が100年もつから、ずっと改修でやっていきましょうということではなく、物価高騰や人手不足といった状況が改善すれば、以前から皆様にご説明したような建替えという選択肢を進めていきたい。ただし、それがいつになるのかが分からない以上、設備も含めて、10年、15年はきちんと学校運営ができるような改修を行っていく必要がある。なるべく早い段階でその改修をどういった形でやっていくのか、方針だけでもまずは示していきたい。

提出意見（会場アンケート） ※参加者 17 名中、15 名回収

＜出席者の属性＞ ※当てはまる項目が複数の場合があるので参加人数とは異なる。

学校等との関係	6 月 5 日（金）	6 月 6 日（土）
第三小学校の児童の保護者	2	2
第三小学校に入学予定の未就学児の保護者		1
立川第三中学校の生徒の保護者	2	
立川第三中学校に入学予定の子どもの保護者	2	2
錦児童館又は錦学童保育所利用者		1
保護者以外で錦町又羽衣町に在住	4	4
その他	1	2

お住い	6 月 5 日（金）	6 月 6 日（土）
錦町	6	5
羽衣町	1	1
錦町又は羽衣町以外で立川市内		
立川市外	1	
未回答		1

<ご意見>

- 建替えではなく、とり急ぎ改修で、という方針には賛成です。代わりに遅れを取り戻せるくらいのスピード感のある決定を臨みます。空調・換気・トイレは本当に待ったなしかと感じています。予算の都合もあるとは思っていますが、どうぞよろしくお願いします。
- 本日はありがとうございました。次年度予算と修繕（改修）の施行に向けた整備計画の策定をお願いします。よろしくお願いします。
- 調査結果を踏まえて早急に対応を検討をして欲しい。特に生活環境、トイレ、水道、換気を早めに検討願います。
- 改善に伴う予算を早急をお願いしたい
- 本日はありがとうございました。錦児童館、錦学童保育所も無関係ではないと感じております。築後年数が比較的浅いという記載がありましたが、設備に関しては同様に老朽化が進んでおります。年数が経過している三小、三中については計画が決まり次第進めていただきたいと感じました。我々としても、子どものことを第1に考え、管理・運営を行ってまいります。
- 丁寧な説明会、ありがとうございました。事業費の高騰により計画が進まず、大変な状況と思います。学校は朝から夕方まで 8 時間近く子供達が過ごす建物ですので、子供達の安全を第一に適切な改修をお願いいたします。また、化学物質過敏症の子どもも増えてきていますのでホルムアルデヒドなどにも除去作業など対応をお願いいたします。
- データー説明においては理解できました。建替工事が延期になったことで修理する部分は早急に願います。ご苦労様です。
- 町丁目ベースでの人口予測が必要。この予測を元に、人口密度目標を立案し、戦略的に人口を集中する地域の公共施設は延床面積 UP させる建替を実施。人口減少地域はスケルトン化→改修して長く使う。といったメリハリのある戦略をえがいた上でのせいび計画のごていあんを楽しみにしております。
- 生徒の増加や減少の予測に応じた施設の規模が決められれば良いと思う
- 公施設画編個別計画を見直されるとのこと、よろこばしいことです。行政の都合、大人の考えですすめる学校の建替えではなく、そこで学ぶ子ども達のことを考えたものにして欲しいです。よろしくお願いします。